



J A P A

日本自動車部品協会
理事長

松村 正史

逆風下こそ好機 強みを徹底追求・得意を生かす 新たな視点で推奨部品のさらなる普及

新年あけましておめでとうございます。
新しい年を迎え、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、新年のご挨拶をさせていただきます。

日本の経済は長い低迷期を脱しつつある様に思われますが、他方では円相場が歴史的な高値を更新し続け

ていたり、欧州の金融危機の深刻化、米国の経済の衰退、中国経済の減速の懸念など、不安材料も数多く存在することから、その結果如何では一層厳しい経営環境が続くことも想定されます。

さらに、TPPを始め対外的な変化は日本を待たず、日本の経済的地位の著しい低下を懸念する声

も聞かれ、本年も景気の先行きは不透明感が一層増すことが予想されます。

一方、昨年は東日本大震災が発生し、人と人との繋がり、絆の大切さ、家族を思う気持ちといったことを日本中の人々が思い起こした、そういったきっかけになった年でした。

震災を経て特に耳にしたのは、秩序ある行動に徹した日本人の素晴らしさでした。

この補修部品業界でも多くの困難から立ち上った企業が数多くあります。

困難のなかにあつては、他人を批判したり、他人に何かを要求する人より、自ら責任を負う覚悟を決めた人、自ら汗をかいて行動する人が増えた時に企業は大きく変わります。

まさに、逆風下こそ自社を変革する好機になります。

また、企業の考え方もこのような危機を経て大きく変わりつつあります。

独自に目先の利益を追求するよりも、幅広いステークホルダーと共生して初めて安定的に経営ができると思います。

例えば、同業他社、部品メーカー、部品商、修理工場等業界に関係するさまざまな立場の企業との繋がりを大切にし、幅広い相手に目配りをすれば、業績は自然に上がります。これからは、それぞれの立場で、お互いが友好的に且つ協調して業界の発展と個々の企業の繁栄を模索することが肝要だと思います。

そして、いまハイブリッド車、電気自動車の普及が進む中で、補修部品市場の先行きに対しては不安が多く、明るい話は聞こえてこない様に見えますが、決してそうではないと思います。

補修部品業界はいままでも、地域に密着したビジネスを基本として、数多くの困難を乗り越えて、変革を繰り返しながら成長してきました。長期的には低成長が避けられないなかで、企業が生き残っていく一つの方法は、将来に不安を持つたり、市場の動向に一喜一憂したりするのではなく、危機意識を持ちながら、既存のビジネススタイルを頑なに守り、健全経営に徹して、その後、時代の変化と市場のニーズの多様化に敏感に対応することだと思います。

すなわち、それぞれの企業において自らの弱みを心配するのではなく、強みを徹底して追求し、得意を生かす考え方を優先し、何を伸ばすかを真剣に考えることが勝敗の分かれ目になると思います。

競争力とは顧客に選ばれる力で、それは顧客が決めることです。

まず、自らの強みを生かすなどの知恵を絞って、それぞれの立場で真に顧客に選ばれる企業になることが肝要だと思います。

いずれにしても、危機を前向きに好機ととらえ、個々の企業自身自分達の繁栄する道を真摯に模索することが未来に繋がります。

さて、今その見直しを推進しております「優良部品推奨制度」についてですが、この制度は昭和47年に制定以来、JAPPAの活動の柱として優良部品の普及、信頼の向上、そして補修部品市場の健全化に貢献してまいりましたが、この制度も今年で40年目を迎えます。

長い歴史と業界に係わる方々の努力のお陰で今日、国内外の市場で広く優良部品が認知され、その必要性が認められていることから、既に所

期の目的は達成されたとの認識もありますが、40年という節目の年にあたり、制度の見直しを図り、エンドユーザーに対する認知度の向上、海外での普及、模倣品対策など、安心、安全、信頼が求められる今、新たな視点から制度を活用して国内外での推奨部品の一層の普及を図りたいと思っております。

具体的には、新たな推奨制度の施行、推奨委員会の設立、新推奨マークの制定、推奨証書の発行などを本年に予定しております。

新しい推奨マークについては、デザインを見直すとともに、今後一層の拡大が期待される海外の市場にも適応できるよう英文表記も検討をしております。

今後は優良部品の普及にとともに、海外製品の国内市場への流入を含めて市場は一段と混沌としてくることが予想されますが、その中で、JAPPA各社は市場で安心して使ってもらえる商品を選別して供給する義務があることから、この制度を活用し、一層の優良部品の認知度の向上、普及を図るとともに、車社会の安心、安全、信頼に貢献していきたいと思

います。

そして、JAPPAと致しまして、昨年の震災を機にJAPPAの仕事の原点であり、使命でもあります必要な部品を必要な車に、必要な時に、迅速に、間違いなく供給するという仕事の重要性を改めて認識を致しました。

これからも補修市場において、廉価かつ品質の良い優良部品の果たす役割は一層強くなることは間違いありません。

また、十分な性能、品質を持った補修部品を適正な競争のもとに、適正な価格で安定的に供給することは最終ユーザーにとって大きなメリットになります。

JAPPAはこれからも補修部品の安定供給という使命と車社会の安心、安全、信頼を守り、最終ユーザーの利益に貢献するために、さらなる優良部品の普及に努めるべく活動を進めて参りたいと思っておりますので、本年も一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

皆様方の今後のますますのご発展を心より祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。